



# 大田原通信

\\地元のよさ、再発見 //

大田原に住んでいて「当たり前」なことが移住者にとっては「魅力」に感じられることも。この通信では、毎月1回大田原の隠れた魅力をお伝えします。

大田原市移住・定住交流サロン通信



interviewee▶

肌トラブルに悩む人が、  
安心して通えるお店を目指して

cocoro organic hair salon  
オーナースタイリスト

あくつともかず  
阿久津 友和さん

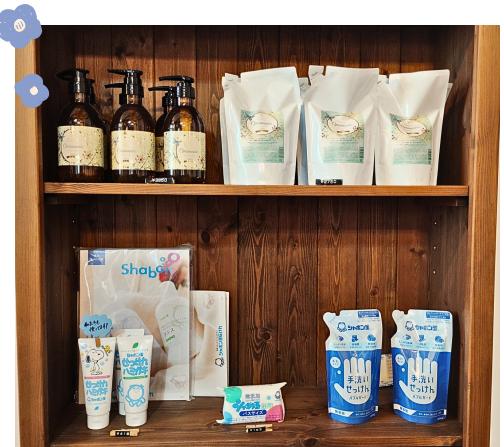
親園に「オーガニック専門の美容院」を開業して8年。敏感肌やアレルギーで悩み、思うようなヘアスタイルにできなかつた方が、遠方からも訪れるサロンとして少しずつ認知されてきた。「お客様が安心して通え、癒されて帰っていただけるお店作り」に励む阿久津さんを取材した。

## 低刺激でも妥協しない、美しさの選択肢

「お客様の中には、首元に掛けるタオルで赤くかぶれてしまう方や、持参したシャンプーで髪を洗ってほしいとお願いされる方もいて。そんな方が、お店の物を使っても安心して通えるようにしたかったんです。」その信念のもと、髪を染める薬剤はもちろん、タオルに使う洗剤や柔軟剤に至るまで、オーガニックで低刺激な製品を厳選。人気の『グレイカラー(白髪染め)』は、cocoroだから頼めるという方も多いそう。「頭皮刺激が弱い薬剤で解決できる時もあれば、それでも肌に合わない方もいる。その場合は、天然成分100%の染料『ヘナ』や、色を選べるヘアマニキュアを提案します。」肌が弱い方の“こうなりたい”を叶えられる場所として。連日、人が訪れている。



阿久津さんが扱いやすいようカスタムされたハサミ。  
長く使うためにも、調整は欠かせない。  
(左二丁：セニングシザーズ、右二丁：カットシザーズ)



陳列商品の一部。

シャンプー等の美容関係の製品の他、  
歯磨き粉や手洗い用石けん等が並ぶ。



## 道具×技術×こだわり=信頼される仕事

仕事道具の要は、四丁のハサミ。「世界で僕だけの特注品。電子顕微鏡で髪の断面を見た時、スパッと切り口になるくらい研いでもらっています。」料理人の方や大工さんがお客様で来た際は、カットする音の鋭さから道具の話題で盛り上がることも。髪へのダメージを最小限に抑えるこだわり抜いた道具と、20年以上かけて磨かれた技術が信頼を生み、リピーターを増やしている。



## 髪も心も整う、癒しのひととき



『美容院で飲めるレベルじゃない』と好評だそう。

「美容院を自分へのご褒美として利用される方も多く、香りに敏感な方への配慮も大切にしています。」正しい髪の手入れ方法や、美容の観点から行う食事のアドバイスは、若い時に苦労した経験を踏まえ伝えているそう。薬剤の知識習得や商品を無理に勧めない信条、施術の待ち時間にいただけの“ここでしか味わえない”オーガニック珈琲の提供にも、外と内の両側から美と癒しをサポートしたいという、阿久津さんの想いが込められている。「安心して、特別感を楽しんでもらえたら。」



「働く場所もナチュラルに」  
木のぬくもりを感じる、落ち着いた店内。  
建材や塗料も自然素材を使用している。

▶唯一目印の看板。  
「心を尽くし、お客様の悩みを解決  
できるお店」を目指して名付けた。



(下: 提供) 店前に広がる、雄大な山並みと田園風景。



## たどり着いた人にだけ届く、美容のかたち

「実家がある那珂川町から近い県北エリアで、山がきれいに見える場所を探していました。」親園で珈琲豆を買った帰り、ライスライン沿いに見えた那須連山の美しさに心を奪われた。「その時ここが売地に出ていて。この景色が決め手でお店を建てました。」オーガニックに特化した美容院だからこそ、郊外に建つ今の立地が良かったという。

「市の中心地と離れているから、調べないと見つけられない。そのおかげで、悩みを抱えている人の目に自然と留まりやすくなった。」街中には立地や、あえて目立たない入り口は、必要としている人にだけ届く“仕掛け”だった。

## 「肌トラブルに悩む方」専門の美容院として

「『帰った後に違和感やストレスを感じない。やっと安心して通えるお店が見つかった』という言葉が、何よりのやりがい。進むべき道が見えたと実感しています。」刺激の強い施術(ブリーチやパーマ等)は行わず、低刺激な製品にこだわる姿勢が共感を呼び、今では福島県や宇都宮市から訪れるリピーターも。それだけ多くの方に支持されるのは、肌トラブルに悩む方専門の美容院として求められているからこそ。「これから店に来られる方を含め、悩みを抱えるお客様の助けになれるように取り組んでいきます。」



cocoro organic hair salon  
大田原市親園2172-7  
0287-53-7556  
9:00~19:00  
(火・第3月定休)



取材した方に聞きました  
「あなたの好きな大田原」

親園の夕焼け  
(店舗前で阿久津さん撮影)



【左】真っ赤な夕焼け空に、山影が映える。  
「この風景、大好きですね」と見せて頂いた一枚。



【右】田植え後（6月頃）  
水が満ち、湖のようになった  
田園風景が好きなんだそう。

## お問合せ

大田原市の移住相談窓口

## 大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階  
Tel: 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)  
Mail: salon@ohtawara-ijyu.jp



ホームページ



Facebook



Instagram

大田原の暮らし、地域情報など発信中！  
担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課